



4/25

「封鎖」うちやぶってデモ！
武田君の
処分撤回へ！

参加した法大新入生より

法大の新入生として初めてデモに参加させていただきましたが、今まで経験したことないことだらけで驚く一方でした。そして武田くんや斎藤さんの法大に対する発言がすごく格好良かった！これなら法大を倒せる日もそう遠くない！と思いました。また、全国の学生たちと現地の問題について話し合ったり共感したりして交流を深めることができて、とても良かったです。



多くの学生が歩道を埋めつくしてアピールに耳を傾けた

先週25日、法大市ヶ谷キャンパスで、文化連盟委員長・武田君への不当処分撤回を掲げたデモが行われました！首都圏のみならず全国のさまざまな大学から多くの学生が集まり、田中優子総長に怒りの声をあげました。

多くの学生がデモに出ることを恐れた法大当局は

法政大学文化連盟

22日「混乱を避ける」ためと称して外濠校舎門を封鎖することを一方的に学生に通告しました。学生を管理対象として主体性をふみにじる、本当にふざけきった態度です。口先では「秘密保護法反対」「戦争反対」などときれいごとを並べながら、学生が行動に立ちあがることを暴力的に抑えこむ田中総長体制の正体は完全に暴かれました。

しかしながら当日、学生の怒りとデモへの注目が「封鎖」を完全に阻止！ 当局は対応不能におちいり、申し入れ書の受け取りを拒否して逃亡しました。

明るく解放的な雰囲気のなかで、ビラを読み、アピールを聞いていた新入生をはじめ多くの学生が飛び入りでデモに参加！ 初参加の学生が次々とマイクを握り、「処分を撤回しろ！」「大学は学生のものだ！」と声をあげました。

デモ終了後、武田君が「『リベラル』を売りにして安倍政権の大学改革を『左』から補完する田中総長は、『グローバル人材の育成』を掲げて安倍政権の経済侵略に加担し、大学間競争に生き残るために学生を弾圧している。全国の大学で闘いを拡大して、再び法大に集まろう！」と熱烈にアピール。その後、全国の学生とともに文科省への申し入れ提出行動を行いました。

今回の行動で、学生が団結して立ちあがったときに大学当局や警察権力による弾圧をはねのけ、キャンパスを学生のもとに奪い返すことができる事がはっきりと示されました！ 正義は学生の側にあります。すべての法大生のみなさん！ 今こそ文化連盟とともに声をあげ、武田君への処分を撤回させましょう！



・25写真速報



これが学生の力だ！

**辺野古新基地建設阻止！すべての基地と原発をなくそう！
沖縄闘争2014**

5月17日（土）戦跡めぐり、国際通りデモ、「復帰」42年5・15沖縄集会

18日（日）基地見学、県民大会、全国学生交流集会

19日（月）沖縄大生との交流など

*参加者募集中です！